

本学を会場として2つの全国大会開催

「日本福祉工学会」総会・学術講演会

去る12月1日(土)本学5号館1階階段教室並びにメディア棟32番教室等を会場として、日本福祉工学会の総会・学術講演会が開催された。この学会は「21世紀の高齢社会を担う福祉工学のパラダイム構築、福祉産業のシーズ創生と普及促進並びに我が国の福祉活動全般の充実・発展に寄与すること」を目的に設立された学会である。本学に東北支部の事務局が設置されている。

当日は総会終了後、本学会員でもあり、医療法人並びに福祉法人の理事長を務める医師の八角正司氏が「ハンセン氏病裁判に憶う」と題する記念講演を行った。講演の最後に「福祉と医療が一番大切なことは心と愛だ」と言われたが、それを日頃から

実践されている氏の言葉だけに一層重みを感じるものであった。

その後学術講演会に入り、全国から合計23件の研究発表があった。福祉・医療で利用する機器の改良、開発に関するもの、障害者にやさしい住環境に関するもの、海外の福祉に関する考え方、介護保険制度の課題に関する研究、プラントセラピーに関する研究等々、巾広い内容についての発表であり、充実した研究会であった。



全国私立大学教職課程研究連絡協議会 2001年度教職課程運営に関する研究大会

12月8日(土)本学5号館階段教室において教員養成課程を設置している全国の私立大学の代表が参加して標記大会が開催された。

総会において本学の小山田了三学長が挨拶した後、記念講演が行われ、宮沢賢治が生れ、育ち活躍した花巻市の本学開催にちなみ賢治研究家の板谷米城氏が「パイオリンで賢治を語る」と題し、賢治の内面の豊かさや心象スケッチなど、賢治が真に人々に伝えたかったと思われることなどについて興味深く話された。

つづいて教員免許取得に係る「三週間教育実習と教職課程の諸課題」をテーマにシンポジウムが行われた。現在、戦後の昭和22年の学制

改革に次ぐ大きな教育改革が行われている中で、教員の資質向上という観点から小・中・高校で行う教育実習の期間を3週間に延長し、より充実した実習を行うように法改正が行われた。この実施に伴って、実習受け入れの小・中・高校側を中心に多くの課題が出てきており、それらの解決のために今大会では岩手県立総合教育センター所長の五十嵐正氏をコメンテーターに招き、3件の実践発表を中心にして協議を深めることができた。「教育は人なり」の言葉のとおり、教育の充実に教員の資質向上は欠かせないことであり、今後の各大学での取り組みに大きな示唆を与えた大会であった。

合同演習発表会

平成13年11月15日(木)に教養(1年次6分科会)・専門(経済学系)・専門(経営・法学系)の3分野に分かれて、合同演習発表会が開催されました。日頃ゼミで研究しているテーマに基づき、毎年この時期、合同で発表会が行われています。

今回、発表されたテーマの一部を紹介します。

第1分科会(人文科学系列)
「色の不思議さと人間行動に与える影響について」他
第2分科会(人文科学系列)
「カタカナ英語と日本文化」他
第3分科会(人文科学系列)
「ワイマール文化とワイマール共和国時代の文学状況」他
第4分科会(保健体育系列)
「富士大学生と一般市民の喫煙率について」他
第5分科会(情報化学系列)
「ホームページのリンク集」他
第6分科会(情報科学系列)
「高度情報化社会の現状と課題 ネット犯罪に関する考察」他



センター試験導入

近年、急速に導入が進んでいる私立大学のセンター試験利用入試。13年度の実施校は266大学、来年度は、本学を含め280大学が予定されている。過去、岩手県では、県北に位置する盛岡地区の県立大学、岩手大学の3校のみが実施され5,000人の受験生が受験した。本学は岩手県の中で唯一

試験日程

区分	学部	学科	募集人員	出願期間	試験日	合格発表日
期	経済学部	経済学科	15名	平成14年1月15日(火)~平成14年2月5日(火)	大学入試センター試験 平成14年1月19日(土)・20日(日)	平成14年2月12日(火)
		経営法学科	10名	締切日消印有効		
期	経済学部	経済学科	10名	平成14年2月22日(金)~平成14年3月8日(金)	本学独自の個別学力検査は課さない。	平成14年3月15日(金)
		経営法学科	5名	締切日消印有効		

選考方法・試験科目(・期)

大学入試センター試験の結果と、高等学校の調査書を総合して可否を決定する。本学独自の別学力検査は課さない。

学部	学科	教科	科目	配点
経済	経済学科 経営法学科	国語	『国語』、『国語・国語』(近代以降の文章)	1科目100点 2科目選択の 200点満点
		地理	『世界史A』、『世界史B』、『日本史A』、『日本史B』から 『地理A』、『地理B』	
		公民	『現代社会』、『倫理』、『政治・経済』	
		数学	『数学』、『数学・数学A』、『簿記』、『情報関係基礎』	
		外国語	『英語』	
		選択		

注意1. 国語は、近代以降の文章のみの回答で、100点満点とする。
2. 外国語は、大学入試センター試験の配点を、100点満点に換算する。
3. 教科・3科目以上受験した場合は、高得点の2教科・2科目を合否判定にする。
4. 期・期と、本学独自の個別学力検査は課さない。

就職情報

「4年生による就職体験発表会」レポート

去る11月21日(水)5号館階段教室において見事、希望の会社の内定を勝ち取った現役4年生3名による「就職活動体験発表会」が行われた。参加した3年生は、3人の先輩の活気あふれる体験発表に、熱心に聞き入っていた。民間企業の営業を希望しているA君は、「就職戦線がこんなに厳しいとは思わなかった。体験談は大変参考になった。今の時期から積極的に動くべきだということが解った。もっと質問したいことがあるので、個人的に訪ねたい。」と語っていた。

体験レポート

小笠原 健君 『富士電機』 内定
「就職活動は長いので、へこたれずに気力ががんばるしかないです。落ちるのは当たり前だと思って受けないとダメですね。あと、活動中に自分のやりたい事が変わってくるので、本命が本命でなくなる時があるんですね。試行錯誤しながら活動しました。多いときで1ヶ月20社くらい行きました。」

斉藤 剛君 『大正製薬』 内定
「25社歩きまわりました。僕は薬品関係のメーカー希望だったので妥協せずがんばりました。あと、大学内だけでは情報が狭まってしまうので地元の社会人の方と友だちになったりして情報を得ました。面接はとにかく自信をもって望む事です。」

千葉蘭美さん 『ワイズマン』 内定
「何社も受けて度胸をつけたほうがいいと思います。集団面接はとても緊張したけど、何社か受けているうちに段々自分らしさを出せてきたかな。必ずと言っていいほど自己PRは聞かれるので慣れることは大事!あとは好きなお喋りも挑むほうがいいです。」

ホームページ

公開サイトを立ち上げました。アクセス下さい。

<http://www.fuji-u.ac.jp/>

連絡先は広報室まで
原 久雄(広報室長) 井手 俊一(広報室課長) 小田桐 憲仁・高橋 直樹
E-mail kouhou@fuji-u.ac.jp

就職からのInformation

就職活動は学内ホームページを大いに利用しよう!

E-mail

就職課にメールアドレスを登録しませんか?

就職活動に出遅れないよう、常に学内ホームページの「就職情報」をチェックしましょう。

ガイダンス情報はお見逃しなく!!
求人情報が満載!!
各情報サイト・公務員情報へもリンク!!

3・4年生の皆さん、就職課にメールアドレスを登録しませんか?
一度就職課に来て、欲しい情報を提示してもらえれば、希望の情報を見つけてメールで配信。

平成13年度花巻まつり

平成13年9月7日(金)~9日(日)に行われた花巻市最大のイベント花巻まつりで、今年も本学学生の若さとパワーが祭りを盛り上げた。

この3日間とも晴天に恵まれたこともあって沿道にはたくさんの観客が集まった。本学は神輿パレードに参加。初日、中日は2台で運行、最終日は担ぎ手となる学生も120名を越し、神輿参加団体で唯一の3台の神輿を運行することとなった。

初日、神輿を担ぐ学生の姿を観客の一人として見物していた学生が「やっぱり見ているより参加しないとダメですね。明日から参加させて下さ

い。と言って早速半天を借り、2日目、3日目には担ぎ手となった。その学生が「やはり氣

また、神奈川県出身で現在2年生の土屋君は「僕は祭りが好きで、地元の祭にも出て

追われる学友会の学生達も「最高でした。教職員の方々と学生が一体となって行える花巻まつりのような行事は他にはめったにないと思います。富士大学だからこそやれるんですね。」と熱く語っていた。

また、OBも見物や応援に駆けつけ、盛大な花巻まつりの3日間も無事終了した。



日商簿記検定合格

11月18日(日)に実施された日本商工会議所主催 簿記検定資格試験において、本学学生が見事、2級試験に合格した。11M 107 松村真桜さん(盛岡商業高校出身)と12M 016 遠藤泰裕君(小野高出身)である。日頃から資格試験に備え、簿記講座の授業に積極的に参加し、さらには自主学習を日々重ねていた。講座担当者自身のこのようにうれしそうに話をされている姿が印象的であった。



宅建合格

(宅地建物取引主任資格試験)

宅建試験の合格発表が12月5日に行われ、本学経営法学科4年生の叶内周君が見事合格を勝ち取った。この資格は不動産取引業者に必ず必要な資格で、合格率15%程度の極めて難しい国家資格です。

高校生童話大賞

本学が地元花巻市と実行委員会を組織し、全国の高校生を対象として童話作品を募集した「高校生童話大賞」には、北海道から沖縄まで、全国の高校生1,260名(高校数384校)より1,268点という多数の作品が寄せられました。

その中から、金の星賞(大賞)に方丈真菜美さん(県立千葉高校3年)の作品「干潟の夜に」が選ばれました。

大賞者には、オリジナル図書カード10万円分と賢治のふるさと研修旅行が送られます。

銀の星賞(優秀賞)

池宮奈々子さん 那覇西高校2年「ミドリノコエ」
昆ちひろさん 不來方高校3年「ちびときつねとおばあさん」
山崎美穂さん 豊島岡女子学園高校1年「水音の虹」
銅賞(佳作)

波場友美子さん 鎌倉女学院高校1年「音の子ララ」
坂中彩さん 向陽高校3年「お空にのぼったクモ」
阿部咲子さん 花巻北高校1年「お日さまと白い花」
佐藤香織さん 高崎商業高校2年「お茶とオニギリ」
生瀬千紗子さん 鎌倉女学院高校1年「その心、忘れないでください」
伊藤香奈さん 各務原西高校3年「夜」
加藤直樹さん 南山高校3年「お星様をさがしに」
五百森裕子さん 飯山高校3年「伝統」
がそれぞれ受賞されました。

表彰式は12月23日(日)に本学において開催されます。



受賞作品大賞決まる!!

この紙は再生紙を使用しております。

富士大スポーツ

柔道部

全日本学生柔道体重別大会
平成13年10月5日・6日
日本武道館

2回目の出場
48kg級 ベスト8
佐藤裕美(4年)

2回戦
佐藤裕美 判定 松本紀恵
(国際武道大学)

3回戦
佐藤裕美 払越し
藤木麻理子
(近畿大学)

(は勝者)



打撃賞
丸目大介(2年)
敢闘賞
府金正樹(2年)
特別賞
平島正之(3年)

硬式野球部

第5回北上市長杯争奪内陸
社会人野球クラブ野球大会

平成13年10月7日・8日
江釣子球場・岩崎球場
準優勝

1回戦
富士大学11-1戸桜陵クラブ
準決勝

富士大学15-4佐藤組北上球友
決勝

富士大学7-8水沢駒形野球倶楽部
(延長12回)

優秀選手賞
新垣雄也(2年)
打撃賞
糸数雄樹(3年)

北東北大学野球連盟秋季ト
ーナメント大会

平成13年10月19日~22日
秋田県大館樹海ドーム
優勝

1回戦
富士大学16-0北里大学

2回戦
富士大学2-1秋田経法大
準々決勝

富士大学9-5岩手大学
決勝

富士大学5-3青森大学

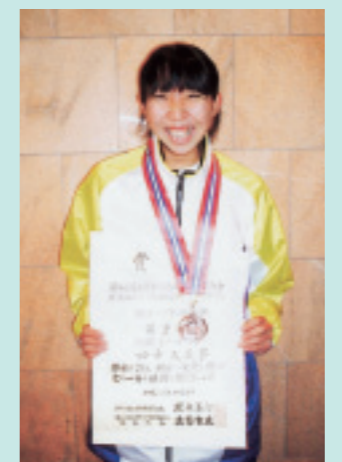
最優秀選手賞
平島正之(3年)
優秀選手賞
板橋賢志(3年)

陸上競技部

第40回全日本50km競歩
高島大会

平成13年10月28日(日)
山形県置賜郡高島町
第3位

田中久美子(1年)
51分11秒(10km競歩)



準硬式野球部

東北地区大学準硬式野球秋
季リーグ戦

平成13年9月26日~10月8日
県宮宮球場他
準優勝

富士大学2-1福島大学
富士大学10-8東北大学
富士大学9-3薬科大学
富士大学0-9学院大学
富士大学2-9仙台大学

敢闘賞 佐藤貴紀(3年)

東北地区大学準硬式野球秋
季トーナメント大会

平成13年10月9日~12日
多賀城公園野球場他
第3位

2回戦
富士大学10-3東北文化大
準決勝

富士大学4-5東北大学

バスケットボール部

第2回岩手県学生選手権大会
平成13年9月2日(日)
岩手大学第1体育館

優勝
1回戦
富士大学126-61盛岡大学
決勝

富士大学70-56岩手大学

第2回東北学生バスケット
ボールリーグ兼第48回全
国学生バスケットボール選
手権大会東北地区予選会

優秀選手賞
下佐裕美(2年)
アシスト王
下佐裕美(2年)
3ポイント王
石田 恵(1年)



インカレ
初出場へ!!
一次リーグ

平成13年9月8日・9日
東北学院大学泉キャンパス
富士大学97-58岩手大学
富士大学86-85仙台大学
富士大学67-63山形大学
富士大学60-110東北学院大

3勝1敗 2位

クローズアップキャンパス

今回は紫陵祭の展示部門で「学長賞」を受賞した藤田康雄専門ゼミと、模擬店部門で「学生部長賞」を受賞した渡邊朝子専門ゼミに感想を聞いてみた。

学長賞 藤田専門ゼミ 「未来企業を考える」



2001年度紫陵祭の展示部門への当ゼミの出展は、P・F・ドロッカー著「未来企業」からのマーケティングに関する研究ノートの一部である。P・F・ドロッカーは、1909年、

オーストリア生まれのアメリカの経営学者であり、日本の著名な多くの経営者に影響を与えている。(本人は社会学者と自任している) 展示物作成にあたり、先

進諸国の主要な企業のマーケティング戦略から得られる教訓を整理し、ゼミ生各自が描く未来企業を想定し、問題意識を調整、今後の未来企業のコンセプトを考えた結果について出展した。この学習及び研究は、ゼミの時間に紹介された某企業のフォレスト・ファクトリー(森の中の工場)から出発した。生産課程を自然と共生し、かつ顧客サービスも図るといふアイデンティティである。

P・F・ドロッカーが述べているが、21世紀の未来企業活動のイニシアチブは大企業から中規模企業に移行するという逆転の発想であり、その点を真剣に考察してみた。現実の意識では、P・F・ドロッカーの認識まで達するに到らなかったが、我々にとって現時点で未来企業を考察できたことに意義があったと思われる。

さて現実的に見れば、我々の出展は奇跡に近い出来事だったと思える。レポートが締切り日までに合ったのは、0人と他人依存の「恐さ」を知らされ、例年より学園祭のスケジュールが早まっていることに「呆然」とし、展示前日の作業者は実質2名、夜間9時まで続く作業の中で苛立ち、結局乱筆の完成版となってしまった。「目に見えるもの、耳に聞こえるものだけが真実ではない」という教訓をリアルワールドで、実感することになった。

苦勞し、出展できた事は、感動の域を超え、驚きである。学長賞は、それをさらに二乗化した。

地区父母懇談会

保護者300名出席

富士大学の父母懇談会が9月5日から14日までの期間に本学会場を含め、青森・仙台・宇都宮・東京の6会場で開催されました。父母懇談会は大学と家庭との連携を密接にすることを目標として、1年に1回父母の皆さんと交流できる唯一の機会です。今年も本学からは小山田学長をはじめ、延べ50名の教職員が各会場に赴き、父母からは約300名の出席がありました。

懇談会ははじめに小山田学長から大学の近況報告を含めた説明が行われ、つぎに各地区に社

会人として活躍している本学の卒業生を招き、学生時代を振り返りながらの苦勞話などをしていただきました。続いて教務・学生・就職部から具体的な説明が行われました。

その後、学生・学科別に個人面談が行われ学業成績、学生生活、就職などについて保護者と膝を交え熱心に懇談が行われました。懇談会では、教職員と父母の皆さんとの交流ができたのうちに終了することができました。

関係各位のご協力ありがとうございました。



学生部長賞 渡邊(朝)専門ゼミ 「手づくりチーズケーキ」



毎年、私たちがゼミ生は学年ごとに模擬店を出店しています。今年は、4年生「焼き鳥、焼きそば」、3年生「手づくりチーズケーキ」、2年生「チョコバナナ」でした。どれもゼミ生同士が試行錯誤を繰り返して、腕によりをかけて作ったものです。学生部長賞をいただいた「手づくりチーズケーキ」は、初日開店すると、すぐに売れはじめ、私たちはどンドン売れる様に驚きを隠しきれませんでした。

しかし、この状況は偶然ではないことを私たちは確信しました。それと同じゼミ生の立花絵美さんはお菓子作りが大好きで、アルバイトもお菓子屋にいるからでした。

立花さんを中心に何回も試作し、本当においしく出来上がりました。

来年も、紫陵祭で「お菓子」の模擬店を出したいと思えます。

平成13年度 紫陵祭

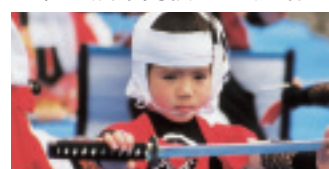
テーマ：2001年富士大の旅～特濃

平成13年10月13日(土)・14日(日)の両日、35回目となる富士大学紫陵祭が開催された。

正門には、10年ぶりとなる紫陵祭を象徴としたアーチが架けられ、約1,000名の来学者を迎えた。

今回は、地元の花巻、北上との地域交流を図り、富士大学をより理解してもらえるようなイベントを企画した。

地域交流企画
めぐみ保育園 園児による
鬼剣舞の演舞
花巻農業高校による鹿踊り



く、教職員の皆さん、そして地域の皆さんと協力し、ふれあいながら楽しくできたと感じています。

もっと、この大学がそういう交流ができる場にしていきたいですね。」とコメント。

今回の紫陵祭のテーマにもあるように、「特濃」内容の濃い学園祭となった。



エスパー伊東・山川恵里佳さんと交えてスタッフ記念撮影

富士大学OBで現在水泳インストラクターの富田寛人さんによる高校生水泳教室元ガナナショナル野球チーム監督の友成晋也氏講演会及び中学生野球教室JAとの共催による野菜果物及び、大船渡漁港から直送のサンマ、ホタテ等魚介類の激安販売ほか外部から多数の参加があった。

また、タレント祭として、ザ・グレート・サスケークショー(約60名) エスパー伊東ライブ(789名)、山川恵里佳トークショー(639名)が開催され、会場となった6号館681教室(500名収容教室)は立見が出るほどの盛況ぶりであった。

さらにゼミクラブ、サークルが中心となって研究発表の展示や焼きそば、焼き鳥などの模擬店の出店も多く見られた。その中で毎年行っている吹奏楽部の演奏会では、卒業生も駆けつけ、さながら合同演奏会の様相で、「ルパン世」のテーマや「STAND BY ME」、「千と千尋の神隠し」のテーマなど数多くの曲が演奏披露され、拍手喝采を浴びていた。

この紫陵祭実行委員長の荒井敬隆君(2年)は、「21世紀最初の学園祭は今までの雰囲気とは一味も二味も違うものにしたいという気持ちで、実行委員会全員で進めてきました。私たち学生だけでな

日本大学生訪韓研修団参加

訪韓を終え

平間 亮(3年)
(3年 宮城 柴田高校出身)

10月29日から11月8日までの11日間、外務省の委託事業として財団法人、日韓文化交流基金が実施している、日本大学生訪韓研修団の一員として、韓国へ行ってまいりました。団長1名、通訳1名、学生18名の計20名で構成さ

れており、ソウルをはじめ大田、慶州、釜山を訪問しました。

新しい日韓の友好親善協力関係を構築することを目的としている今回の訪韓は、歴史や文化を視察、2度に渡る韓国の学生との交流、2泊3日のホームステイ等が組み込まれており韓国のありのままの姿を直接見ることができました。たくさんのカルチャーシ

ョックを受けた反面、自分の視野が今までにない程大きく広がったのを実感しています。メンバーにも恵まれ、とても価値のある訪韓でした。

今回の訪韓で学んだ事、感じた事、また、20名の団員達みんな私の宝物です。この経験を生かすも殺すも自分次第です。私の人生の糧となるよう、これからも自分を磨いていきたいと思えます。

平成13年度 「海外事情・研修」旅行の中止

今年の後期から授業がスタートする12月の研修旅行に向けて授業が行われております。ご存知の様にアメリカで起きました同時多発テロ事件

の影響で、本学でも旅行実施に向けてさまざまな方面から情報を収集してきました。

その結果、学生の安全第一を考え今年の研修旅行(アメリカ・ヨーロッパ)を中止することに決定しました。

尚、研修旅行は中止となりますが今後の「海外事情・研修」の授業は引き続き行われます。

